

子どもオンブズ 2013年次活動報告会

活動の特徴報告や基調講演
パネルディスカッションも

「子どもの声を受けとめ、希望を語れる社会をつくるために」をテーマに、第1部では2013年次オンブズ活動の特徴報告、第2部では(社)office ドーナツトーク代表の田中俊英さんによる基調講演「子ども・若者の希望を支える居場所づくり」とパネルディスカッションを。当日会場へ。

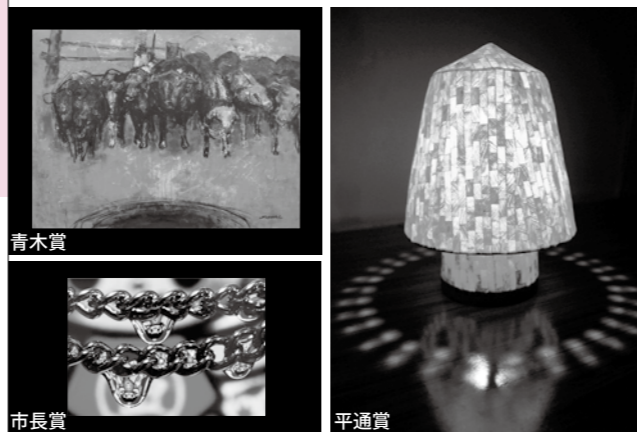
とき=3月21日(祝)午後1時半~4時(午後1時開場)▷ところ=みつなかホール文化サロン▷定員=先着150人▷問合せ=子どもの人権オンブズパーソン事務局☎(740)1235へ



市制施行60周年 市展特別賞決まる

青木賞に野口睦枝さん
平通賞に西村昇平さん
市長賞に石津顕さん

市展の特別賞が決定。青木賞には洋画部門から野口睦枝さん(川西市)の「帰り道」、平通賞には工芸部門から西村昇平さん(川西市)の「かがり松細工」が選ばれました。各賞は川西市ゆかりの青木大乗、平通武男両画伯にちなんで設けられています。また、市制施行60周年記念市長賞には写真部門から石津顕さん(川西市)の「しづく、落ちそう!」が選ばれました。詳しくは観光・スポーツ振興課☎(740)1106へ。



地域分権の推進に関する 条例(案)要綱に ご意見を

■持続的な発展のために

市や地域社会の状況が大きく変わる中で、本市が持続的に発展するためには、地域と行政がこれまで以上に手を携えてまちづくりを進めていかなければなりません。

このため市では、各地域で活発に展開されている地域づくり活動を、さらに活性化するための仕組みとして「地域分権制度」の創設に向けた検討を進め、昨年11月には、制度の基本的な枠組みをまとめた地域分権推進基本方針を策定しました。

■基本方針に沿って要綱を策定

今回、同方針に沿って、地域分権の推進に関する条例(案)要綱を策定しました。

条例(案)要綱では、地域が抱える課題解決に

より良い地域づくりを
進めていくために
あなたの意見を募ります

向けて地域活動に取り組む組織(地域自治組織)の認定、まちづくり地域交付金の交付、市民の地域活動への参加などをうたっています。

■意見を募集

今回、この内容についての意見を募集します。条例(案)要綱は市ホームページに掲載するほか、市役所4階の地域分権推進課、同2階の市政情報コーナー、大和行政センター、各公民館・コミュニティセンター、中央図書館、パレットかわにしで閲覧できます。住所、氏名、年齢、性別、該当個所のページ番号と意見を書き、3月1日(出)から31日(月)(必着)までに〒666-8501・地域分権推進課へ郵送かファクス(740)1315で提出を(市ホームページの問い合わせフォームから送信も可)。詳しくは同課☎(740)1600へ。

【いきもの・環境学科】

「人と自然が共生する持続可能な地域社会」の構築という課題を解決するためには、地域の自然を深く理解し、共生への方策を考える必要があります。市とその周辺地域の素晴らしい自然を取り上げて、さまざまな角度から解説します。

回	主題	内容
1	自然環境と植生・植物相	猪名川上流域の自然環境
2		川西市の植物相の特色
3	自然林	猪名川上流域の照葉樹林
4		猪名川上流域とその周辺地域の夏緑林
5	里山	猪名川上流域の日本一の里山
6		里山と今後の里山のあり方
7		市民参画による里山管理最前線
8	地質	兵庫の大地と川西の地質
9	川西市の自然	タンポポとシダからみる川西市の自然
10		川西市のエドヒガン大群落
11		二ホンジカによる川西市の自然の危機
12	湿原	川西市周辺に広がる湿原の保全
13	カラスの問題	カラスのごみ被害を解決する
14	水生生物と水辺環境	猪名川水系における水生生物の多様性
15		川西市における人工的な水辺環境
16		台場クヌギにおける昆虫群集について
17	昆虫と爬虫両生類	猪名川上流域の「昆虫アイデンティティ」
18		猪名川流域はヒメボタルの重要スポット
19		猪名川流域の爬虫両生類 ヤマカガシを中心に
20	風景の変化	絵図と地図からみる猪名川流域の昔の風景

講師:兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授の石田弘明さん ほか

【文化情報学科】

1年目は文化情報学とはどのような学問かを理解するための編成です。人文科学や社会科学に理系の研究手法を導入し、現代的な課題に対応するため、異分野で協働して新たな学問分野を開拓することに力を置いています。

回	主題	内容
1	文化情報学とは何か	人文科学に理系的手法を導入
2	文化情報学の本質	学際から超域へ
3	データサイエンス入門	ビッグデータとデータサイエンス
4		統計の歴史
5	文化とは何か	文化現象にどのように切り込むか
6	データサイエンス入門	さまざまな統計グラフ 活用と誤用
7	言語とは何か	言語学の位置づけと言語の諸性質
8	音声学・音韻論入門	音声学とは何か
9		音韻論とは何か
10	形態論入門	形態論とは何か
11	データサイエンス入門	データを記述する
12	伝統芸能・伝統文化	雅楽を知る
13		雅楽を通して知る
14	データサイエンス入門	確率を考える
15	比較文化論入門	宗教と文化
16		国民国家とグローバル化現象
17	語形成入門	語形成とは何か
18	感性を科学する	私はなぜあの人が好きなのか
19	人種関係論と多文化社会	西欧の現状と日本の未来
20	次のステップにむけて	本年度の復習と次年度の予定

講師:同志社大学文化情報学部教授の田口哲也さん ほか

生涯学習短期大学 レフネック

専門的に学ぶ2年間
学問に没頭してみませんか
締め切りは3月29日

生涯学習短期大学レフネックが2学科で学生を募集。同大学では、1つの学科を2年間にわたり、専門的・系統的に学びます。26年度は左表の通り「いきもの・環境学科—自然共生社会のあり方を探る」と「文化情報学科—文化情報学への誘い」の2学科を開講。詳しくは生涯学習センター☎(757)8481へ。

「いきもの・環境学科」は7月を除く5月24日~11月8日の毎土曜日(原則)午前10時~11時半に、「文化情報学科」は7月を除く5月24日~11月29日の毎土曜日(原則)午前10時~11時半に開講します。対象は、市内在住・在勤者で、修了するまでの2年間、協調性を持ってやり遂げる学習意欲のある人。定員は各学

科70人で、受講料は1学科年1万5000円(資料代別)です。申し込みは、生涯学習センター、市役所1階正面案内、中央図書館、みつなかホール、総合体育館、パレットかわにし、各公民館、大和行政センターに備え付けの入学案内書を書き、3月29日(出)(必着)

までに同センターへ。なお、入学案内書は、3月1日(出)から各施設に設置します。定員超過の場合は、4月12日(出)に公開抽選(今までに応募して抽選に外れ一度も入学できなかった人)に、各学科20人の優先枠あり。定員に満たない場合は4月19日(出)まで同センターで受け付けます(先着順)。

